

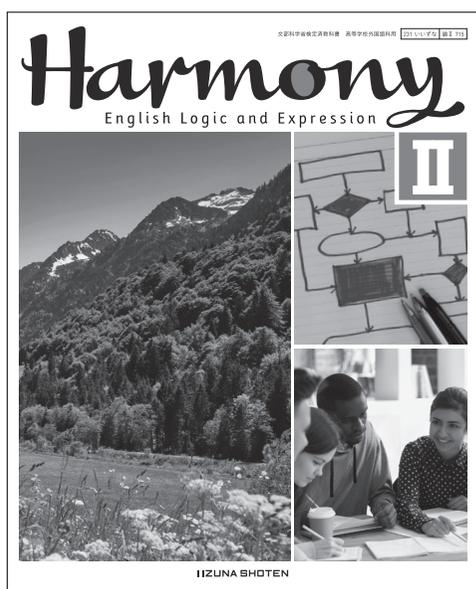
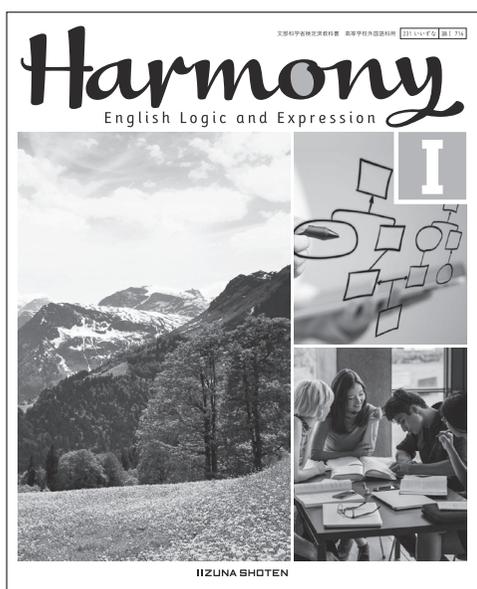
# Harmony

English Logic and Expression **I II**

論 I 716

論 II 715

## 指導資料 抜粋見本



## CONTENTS

指導資料セット 一覧 .....	1
指導書本冊 .....	4
Teacher's Book .....	11
補助プリント .....	16
小テスト・評価問題集 .....	22
DVD-ROM データ .....	25
観点別評価規準, CAN-DO リスト, 年間指導計画案 .....	34

# 指導資料セット 一覧

## 1. 指導書本冊 (冊子) 実物大の紙面見本は⇒ pp.4-10

指導の際の指針、授業の展開案、文法の解説など、教科書を使いこなすための情報が満載です。

### LESSON 1 Start-Up



**Start-Up** ①②③④⑤

1. Excuse me. 「すみません」

2. You're Alex, right? 「あなたはいくつかのレッスンね」

### LESSON 1 Interactions



**Interactions** ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

## 2. Teacher's Book (冊子) 実物大の紙面見本は⇒ pp.11-15

教科書の紙面に解答(例)、音声 CD トラック、言語活動を行う際の英語の指示文を掲載しました。

### Interactions

**A 「(今)〜だ」と伝える**

1. I like very much.

2. My brother has two bikes.

**B 「(いつも)〜する」と伝える**

1. My mother drives to work every day.

2. My cat usually sleeps on the sofa.

### You and the People around You

**A 「(今)〜している最中だ」と伝える**

1. I'm waiting for the school bus.

2. My cat is getting fat these days.

**B 「(今)〜している最中だ」と伝える**

1. What is she doing?

2. What is she doing?

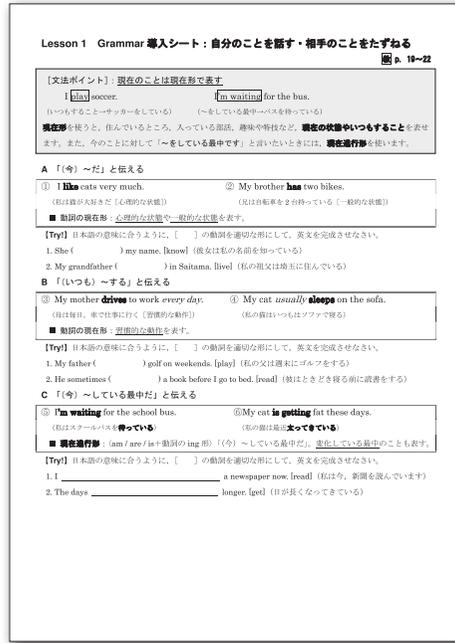
3. What is she doing?

4. What is she doing?

5. What is she doing?

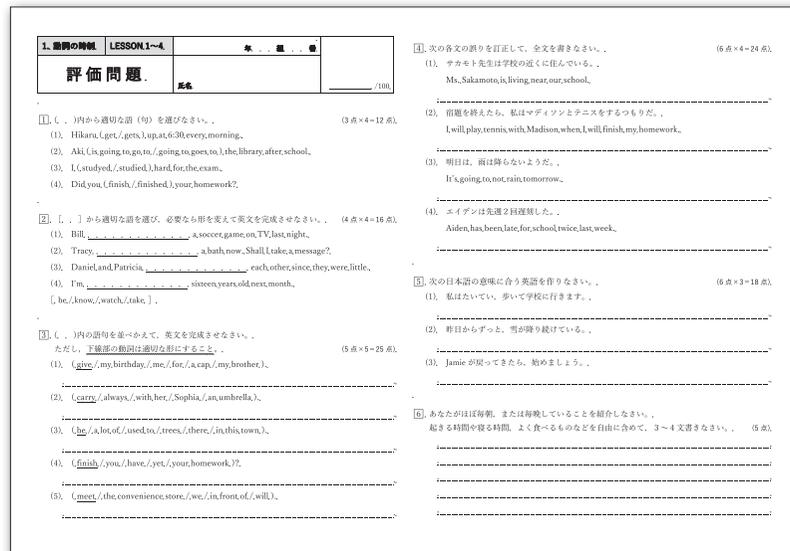
### 3. 補助プリント（冊子／データ） 実物大の紙面見本は⇒ pp.16-21

- ・レッスンの各コーナーに対して、授業を活性化するためのさまざまなワークシートを用意しました。
- ・ワークシートの例：Introduction 練習シート／Grammar 導入シート／Share 活動シート／Write 活動シート



### 4. 小テスト・評価問題集（冊子／データ） 実物大の紙面見本は⇒ pp.22-24

- ・文法単元ごとに、文法・機能表現・語彙などの確認ができる問題をご用意しました。



### 5. DVD-ROM データ 実物大の紙面見本は⇒ pp.25-33

- ・プリント作成などに使っていただけるさまざまなデータを収録しました。

種類	内容	本書の掲載頁
① 各課小テスト	指導書別冊と同じ内容を収録	p.24
② 評価問題	指導書別冊と同じ内容を収録	pp.22-23
③ 各課和訳	本課モデル会話、例文、活動例英文の和訳を収録	—
④ 教科書本文 Word データ	本課+課外活動のイラストとテキストデータを収録	—
⑤ 教科書解答・解答例	Introduction, 本課の解答・解答例を収録	—
⑥ ディクテーション・シート	本課モデル会話のディクテーション活動用シート	p.25
⑦ Introduction 練習シート	Introduction の内容を定着させるためのワークシート	pp.16-17
⑧ Grammar 導入シート	本課の文法説明+簡単な練習問題のワークシート	pp.18-19
⑨ Grammar 練習シート	本課の例文をアレンジした英文の和文英作文シート	p.26
⑩ 例文暗唱& Vocabulary シート	本課の例文と重要語句を暗唱するためのシート	p.27
⑪ Share 活動シート	本課の Share 活動のサポートシート	p.21
⑫ Write 活動シート	本課の Write 活動のサポートシート	p.20
⑬ Keep Talking 活動シート	Keep Talking で場面別会話活動をするためのシート	p.28
⑭ ～してみよう！活動シート	スピーチ、パラグラフライティング、プレゼンテーション活動のサポートシート	pp.29-30
⑮ 語順トレーニング（5文型）	5文型を身につけるためのワークシート	p.31
⑯ 指導用パワーポイント&フラッシュカード	パワーポイントには音声、イラストなども収録	pp.32-33
⑰ シラバス・評価規準（ループリック）	シラバス・観点別評価規準、CAN-DO リスト、年間指導計画案を収録	pp.34-40
⑱ テストクリエイター	パソコンを使って、本課例文などを使用した確認テストを簡単に作成できるプログラム	—

# 1. 指導書本冊

## LESSON 1

### Meeting New People

● 自分のことを話す・相手のことをたずねる

#### ●本課の内容

p.19 対話文・学習 項目の提示	高校生が初対面のクラスメイトを部室へ案内する会話 文法：現在形・現在進行形 機能表現：あいづち 発音：/l/ と /r/ の発音
pp.20-21 文法	現在形・現在進行形 A 現在形（状態動詞） B 現在形（動作動詞） C 現在進行形（am/are/is -ing）
p.22 自己発信	トピック：自己紹介 Write 自己紹介の文を書く Share 自己紹介をする

#### ●ねらい・指導上の留意点

会話表現	高校生が初対面のクラスメイトを部室へ案内する会話を学習する。それをもとに、自分や身近な人のことを、「どのような人物か」「ふだんは何をしているのか」に焦点をおいて話せるようにする。
文法	現在形・現在進行形のさまざまな用法を学習する。 [中学までの学習内容] A 現在形で現在の状態を表す 動詞については「一般動詞」「be動詞」の区別しか学習しておらず、「状態動詞」と「動作動詞」の区別は学習していない。したがって進行形では使わない動詞があることは理解できていない。 B 現在形でいつもすることを表す like, have, eat, play, goなどが中学1年で最初に学習する動詞である。「習慣的」という視点で学習していないので、その視点で見直させる必要がある。 C 現在進行形でしている最中のことを表す 進行形の知識形成は、①進行形の意味を理解すること、②-ing形の作り方を理解すること、③適切なbe動詞を使うことの3段階だとされている。学習直後はよいが、しばらくするとbe動詞を落とす生徒が見られる。
自己発信	「自己紹介」を扱う。Writeでは、自分の名前、出身中学、好きなものやしたいことなど自己紹介の文を書く。Shareでは、話す（スピーチ）の活動として、グループになって1人ずつ自己紹介を行う。

## LESSON 1 Start-Up

LESSON 1 Meeting New People  
自分のことを話す・相手のことをたずねる

Start-Up Alexが国際交流部の活動場所である視聴覚室に向かおうとしています。

Excuse me. Are you Haruka? Yes! You're Alex, right? That's right. It's nice to meet you, Haruka. Glad to meet you, too. Let's go to the classroom. Everyone is waiting for you there. Oh, really? OK! Let's go.

Tips: 英語で会話をすると、相手の名前を口に出して言うことが大切です。また、にっこり笑ってゆっくり、はっきり話すと、初対面の人もスムーズなやりとりができるでしょう。

Forms 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

Expressions 相手の話の内容に合わせて、「Sure」などのあいづちを打つことで会話を続ける  
● 会話中に出てくる「あいづち」表現を探してみよう！

Sounds /l/ と /r/ の発音  
● /l/…舌の先を上唇裏の奥ぐき押しつけて「ル」と発音する。  
Alex, glad, let's, class  
● /r/…舌の先を上唇裏の奥ぐき押しつけて「ル」と発音する。  
right, room, everyone, really

Talk ● AlexとHarukaになりきって会話をしてみよう！

Alex Lee先生に勧められて国際交流部に入った。新しい部室だといいなあ。

#### 各ページの指導上のねらい

### Start-Up CD1.07~09

- 初対面の高校生同士が、出会いのあいさつを交わし、部活動へと向かう対話を読んだり聞いたりして、理解する。
- 初対面時に用いられる会話表現、相手を歓迎する表現やあいづちの表現をしっかり身につけたい。

#### 1. Excuse me. 「すみません」

【解説】初対面かどうかにかかわらず、人に話しかけるときに用いられる表現。学生にとって、会話表現でイメージがつかみにくいことのひとつが「その表現がどの程度でいねいか、またはカジュアルか」ということである。Excuse me. は、ていねいな表現の中ではもっともカジュアルなグループで、若者も使う。

#### 2. You're Alex, right? 「あなたはアレックスね？」

【解説】疑問文で同じ内容を聞く場合、「Are you Alex?」となるが、同じ学年とはいえ「Are you...?」で名前をたずねるのは直接的でやや失礼に聞こえることがある。確認をとる意味でも、肯定文「You're Alex」のあとに「, right?」と付け加える表現がちょうどよい。また、学生にとっても、会話練習の中で相手の言った内容を確認したい際に、肯定文に「, right?」と付け加える方法はやりやす

いと思われるので、自然に使えるようにしたい。

#### 3. That's right. 「その通り」

【解説】短い会話の中で、Yesを表したり、肯定的なあいづちを打ったりする表現は、外部試験などでの面接にも役立つので、学生に多くストックさせたい。直前の相手の発言内容を受けて「That's...」で反応するのは、「It's...」と間違える学生も多いので、しっかり定着させたい。

#### 3. It's nice to meet you, Haruka. 「会えてうれしいよ、ハルカ」

【解説】Itが形式主語、to meet youが真主語の不定詞構文だが、定型文として覚えるのがよい。本教科書の前半ではおもに日常的な状況において身近な人で行う対話を取り上げている。そのような対話では、話しかけたり、確認したりする際に相手の名前を意識的に呼ぶことで心理的な距離を縮められるので、教室での対話練習でもペアになった相手の名前を呼ぶよう指導してもよい。

#### 4. Glad to meet you, too. 「こちらこそ（会えてうれしいわ）」

【解説】対話に限らず、英語でのコミュニケーションの特徴のひとつが「言い換え」である。「It's nice to meet you.」と言われたときに「It's nice to meet you, too.」と返すのは間違いではないが、「Glad to meet you, too.」などのように言い換えるとより英語らしい自然な表現になる。

#### 5. Everyone is waiting for you there. 「みんなそこであなたを待ってるわ」

【解説】語いとしては、「みんな」を意味するeveryoneは単数扱いであること、every oneと2語で書く誤りが多いが1語でeveryoneと書くことをしっかり確認したい。また、〈wait for+人〉もforを抜かさないよう学生の知識を確認しておくことよい。現在進行形の文をつくるにあたり、学生が正しく-ing形をつくれるかどうかも見極めが大切である。

#### 6. Oh, really? 「本当？」

【解説】「Really?」は非常によく使うあいづち表現であるとともに、発音のしかたによってニュアンスにバリエーションがあり、また/r/, /l/の発音練習にもなるため、生徒にしっかり発話練習をさせた。ここでは、疑問のニュアンスは少なく、発話者の驚きを示している。

**Interactions** 自分や身近な人のことを伝える

**A 「(今)〜だ」と伝える** 現在形(状態動詞)

① I like cats very much. 私は猫が大好きだ。  
 ② My brother has two bikes. 兄は自転車をもっている。

**F-Guide**

①好きなものや思っている、知っていることや思っていることなど、現在の心理や感情を表すときは動詞の現在形を使う。  
 ②持っているものや住んでいるような現在の状態を表すときは、動詞の現在形を使う。

**現在形(状態動詞)**

状態を表す動詞  
like / love / have / want / hope / know / think / live / resemble / believe / understand など

**B 「(いつも)〜する」と伝える** 現在形(動作動詞)

① My mother drives to work every day. 母は毎日、車で仕事に行く。  
 ② My cat usually sleeps on the sofa. 私の猫はいつもソファで寝る。

**F-Guide**

①習慣になっていることや繰り返し起こることを表すときは、動詞の現在形を使う。  
 ②どのくらいの頻度なのかを表すときは、always 「いつも」、usually 「本だん(は)」などの副詞を、be 動詞の後か一般動詞の前に入れる。

always > usually > often > sometimes > never  
 「いつも」 「本だん(は)」 「よく」 「ときどき」 「決して〜ない」

**Vocabulary**

live in	住んでいる	age	年齢	video game	ビデオゲーム
resemble	似ている	too	〜すぎる	drink	飲む
hope	〜を願う、望む	smartphone	スマートフォン	coffee	コーヒー
understand	〜を理解する	tennis club	テニス部	get up	起床する

**You and the People around You**

**Task 1** ヘアになって、下のイラストから1つ選び、自分がいつもすることなど「...」しないことなど「I don't...」と書き出してパートナーに伝えよう。パートナーはE-Guideを参考に、あいつら打って返さしよう。

(例) A: I play video games every day.  
 B: Really? Me, too.

**E-Guide** あいつら

□ Sure. 「もちろん、そうだよ」  
 □ I see. 「それだ」  
 □ That's nice/good/great. 「それはいいね」

□ Really? 「そのな?、本当?」  
 □ Me, too. 「私も」  
 □ That's too bad. 「それは残念だね、気の毒だね」

**C 「(今)〜している最中だ」と伝える** 現在進行形(動作動詞)

① I'm waiting for the school bus. 私はスクールバスを待っている。  
 ② My cat is getting fat these days. 私の猫は最近太っている。

**F-Guide**

①「(今)〜している最中だ」という、行われている最中の動作を表すときは、現在進行形(am/are/is + 動詞のing形)を使う。②のような状態を表す場合は進行形にしない。  
 ③変化している最中のことを表すときは、現在進行形を使う。

**Task 2** ヘアになって、イラストの人物が何をしているのか話してみよう。

(例) A: What is Tim doing?  
 B: He is drinking water.

**SELF-CHECK** 到達度を自己評価してみよう

□ 自分や身近な人、ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形) 状態動詞  
 □ 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形) 動作動詞  
 □ 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)  
 □ 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

**Interactions** CD1.10~21

□ 動詞の時制の中でも、基本となる現在形の用法について学習する。

□ 動詞は、状態を表す「状態動詞」と、動作を表す「動作動詞」に大別される。両者の相違の中で最も

大きな点は「動作動詞は進行形を作るが、状態動詞は進行形を通常作らない」ことである。

□ 動詞の現在形の活用では、まず三人称単数現在の-s/-esのつけ方を確認したい。不慣れな学生も少なくないので、ていねいに指導していきたい。

**文法の指導ポイントをコンパクトに紹介** 形(状態動詞)

状態動詞の現在形を使って、「現在の状態を表すこと」を学習する。状態動詞は現在形のみで「今、その状態が続いている」ことが伝わるので、通常、進行形にはならないことに注意させたい。

- 心理的な状態を表す状態動詞**  
 (解説) like 「好きである」は心理的な状態を表す状態動詞。瞬間的なことではなく、過去から未来に広がりがあがる心理的な状態であることを理解させる。「今、(瞬間的に)〜している」という現在進行形にしないように注意させる。〈瞬間〉とは「動画再生中に一時停止をするイメージ」で、run や sleep などの動作動詞は動画を一時停止しても「何をしているか意味が伝わる」が、like などの状態動詞は動画を一時停止した静止画では動詞の意味が伝わらない。同類の動詞に love, want, hope, know, think, understand などがある。
- 一般的な状態を表す状態動詞**  
 (解説) has 「持っている」は心理的な状態ではない、一般的な状態を表す動詞。①同様、「〜している」という日本語につられて現在進行形と考えてしまうため注意させる。ただし、have は「食べる」という意味では動作動詞となり、進行形になる。「動作」が感じられるかどうかには注目させる必要がある。同類の動詞に live, resemble, belong などがある。

**Task 1** 状態動詞を使って、自分や身近な人について説明する

(解説) be, like, want, have, live in を使って、任意の文をつくる活動。本教科書ではTaskに参考語いがある場合、指示文を「与えられた語句を参考に」としており、参考語いを使わず、自分の言葉で文をつくることを許容している。参考語いはあくまで、ゼロから自分のことばで文をつくるのが難しい学生のためのものである。

**評価のポイント**

i) は必須、i) と ii) ができていればおおむねOKとする。  
 i) 主語に合わせて動詞が適切な形になっている。

**1**

(be 動詞、三人称単数現在) 否定文も同様。

ii) 意味の通る文をつくらせている。たとえば、「I'm in the tennis club.」は意味が通るが、「I like the tennis club.」は不自然である、など。

iii) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。兄弟姉妹が1人の場合、a brother, a sister と冠詞をつけている。または I like のあとでは summer, movies, baseball などには the をつけない。普通名詞の場合は movies のように複数形にする。

**Taskの評価のポイントを掲載**

**B 「(いつも)〜する」と伝える** 現在形(動作動詞)

動作動詞の現在形で習慣的動作を表す用法を学習する。頻度を表す副詞 always, usually, sometimes, never の基本的な位置を説明する際は、be 動詞と一般動詞を正しく区別できているかも確認する。

- 習慣的な動作を表す動作動詞**  
 (解説) 動作動詞を使って、1回きりではなく習慣的に行っている動作を表す用法である。drives は「(習慣的に)車で行っている」という意味になる点に留意させる。また、〈移動を表す自動詞+to work〉における無冠詞の work は「仕事場」= workplace を意味する名詞。to work で不定詞と誤解している学生もいるので、確認する必要がある。
- 頻度を表す副詞**  
 (解説) 習慣的な動作はくり返し行っていることなので、頻度を表す副詞を伴うことが多い (always, usually, often, sometimes, rarely, never など)。now, today, this weekend のように、通常文末に用いる、〈時〉を表す副詞(句)と混同しないよう、頻度を表す副詞はすべて覚えさせたい。

**Task 2** 動作動詞を使って、自分の習慣的な動作について説明する

(解説) テレビゲームをするか、コーヒーを飲むか、何時に起きるかについて、自分に関する文をつくる活動。学生が発信しやすい場づくりをして、「平日はたいてい6時に起きるが、週末は8時に起きる」のように自由に情報を追加させたい。

**評価のポイント**

i) は必須、i) と ii) ができていればおおむねOKとする。  
 i) “I drink coffee. / I don't drink coffee.” “I get up ... / I don't get up ...” と正しく言えている。

- 頻度を表す副詞は一般動詞の前に、every day などの副詞(句)は文末にある。
- 話の内容に合わせて、適切なあいづち表現を使う。たとえば、「I don't drink coffee. I don't like it.」に “That's nice.” とあいづちを打つのは不自然。この場合は “Really?” や “I see.” を選ぶ。

**C 「(今)〜している最中だ」と伝える** 現在進行形(am/are/is-ing)

今この瞬間を表したり、通常とは異なる一時的な状態を表したりする現在進行形を学習する。

- 今現在していること**  
 (解説) 何かをしている最中であることを、現在進行形(am/are/is-ing)で表す。現在分詞-ingは「何かをしている途中」を表す。ここで再度、状態動詞と動作動詞の区別の仕方を確認し、状態動詞は進行形にならないことを強調しておく。
  - 最近していること**  
 (解説) 現在進行形は「最近は」や「今年は」のような、ある限られた期間にしていることを表すことができる。⑤今現在していることとの共通点は、前後に連続する時間軸の中からある特定の時を切り抜いている点。⑤は今まさにこの瞬間を、⑥はここ最近を、取り上げて説明している。
- Task 3** 現在進行形を使って、イラストの人物について説明する
- (解説) イラストの人物が何をしているかをペアで話す活動。イラストの人物は1人の場合と2人の場合があるので、be 動詞の形に注意させたい。

**評価のポイント**

i) は必須、i) と ii) ができていればおおむねOKとする。  
 i) 主語に合わせて be 動詞が適切な形になっている。  
 ii) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。(1) は play the guitar, (5) は play basketball のように、冠詞が正しくつけられている。  
 iii) イラストの内容をよりくわしく説明できている。(2) はキャンパスを使用しているので、paint a picture が正確だが、draw a picture も許容し、paint と draw の違いを説明する。(3) は He is swimming. でもよいが、He is swimming in the pool. まで説明できるとなおよい、など。

**Write 自己紹介の文を書く**

次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

**Hints for Logical Writing**

自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての〈大まかな情報〉、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらいたいもの〈より個人的な情報〉という順で書くこと、伝わりやすくなります。

**Share 自己紹介をする**

グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

- あいさつ
- 大まかな情報
- より個人的な情報
- あいさつ

**SELF-CHECK** 到達度を自己評価してみよう

自分のことを説明する英文を書くことができた。 ① ② ③  
 示された質問にすべて自己紹介をするのができた。 ④ ⑤ ⑥  
 グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。 ⑦ ⑧ ⑨

**Active Learning** CD1.23~24

□ 現在形を使い、英語で自己紹介ができるようになることが目標である。同時に、Interactions で学習した基本的な文の形のバリエーションを学び、アウトプットに生かせるようにする。

□ 初対面に用いられる表現や、話し始めのあいさつなどを適切に使えるようにする。

**Write 自己紹介の文を書く**

現在形を使って、「自分はだれ」で、「ふだんどのようなことをする」人物であるかを自分のことばで説明する。名前などの重要な情報から先に、また、大まかな情報のあとにより詳しい情報を書いていくなど、情報の整理を意識して書かせる。

**和訳** みなさん、こんにちは。私の名前は山田さくらです。私はナカハタ中学校に通っていました。私はKポップが好きです。お気に入りの歌手はJJです。私はいつか韓国を訪れたいと思っています。よろしくお祈りします。

**解説** いきなり5文以上でパラグラフを書くとなると手が止まってしまう学生もいるので、まずは自分

について説明する文をどんどん書かせて、それを〈重要〉→〈重要でないこと〉、〈大まかな情報〉→〈詳しい情報〉の順に並べて整理させるとよい。また、出身中学校、住んでいる場所、家族構成などの〈公的な事実〉と、好きなアイドルや漫画などの〈私的な嗜好〉に分けて考えさせるとアイデアが出しやすい。

**評価のポイント**

i) は必須、i) ~ iii) ができていればおおむね OK とする。

ii) “My name is + 名前.”, “I’m + 名前.”, “Nice to meet you.” の文が正しく書けている。

iii) 主語に合わせて動詞が適切な形になっている。(be 動詞, 三人称単数現在) 否定文も同様。

iv) 5文以上書けている。

v) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。兄弟姉妹が1人の場合、a brother, a sister と冠詞をつけている。または I like のあとでは目的語に the をつけない。同様に、普通名詞の場合は movies のように複数形にする。

**発展 ピアレビュー**

ペアになって、自己紹介の原稿を交換し、読んで1文(以上)のコメントを記入して返却させる。5文、40語程度なので時間は2~3分で区切り、素早く読んで素早くコメントを書かせる訓練とする。最初の段階では、コメントは“Interesting!”や“Great!”など1語でもよい。即時的なコミュニケーションのよい訓練になるので、可能であれば、Write のピアレビューは習慣化したい。

**Share 自己紹介をする**

グループになって、1人ずつ自己紹介を行う。Write で作成した原稿を読み上げるだけにならないよう、グループのメンバーとアイコンタクトをとることを意識させたい。

**和訳** みなさん、こんにちは。私の名前は佐藤ひなたです。私をヒナと呼んでください。私はサクラ中学校に通っていました。私はナナイロ市に住んでいます。私はテニス大好きです。よろしくお祈りします。

**解説** Write から Share へと活動を展開させる際、

Write で作成した自己紹介の原稿を Share で読ませるのではなく、Write の原稿を作成するために書き出した、自分について説明する文をもとに、何も見ずにアドリブで自己紹介をするイメージで挑戦させるとよい。

**評価のポイント**

i) は必須、i) ~ iii) ができていればおおむね OK とする。

ii) 【表現】 “Hi, everyone.”, “Hello.”, “Nice to meet you.” など、呼びかける表現を言う際、語尾下がりではなく、顔を上げてグループのメンバーに伝えるトーンで言うことができる。

iii) 【発音】 各語の発音とアクセントがおおよそ正しく発話できている。また、文の中で最も重要な情報(SVCのCにあたる名前や属性, SVOのOにあたる好きなものやふだんすることなど)がはっきり聞き取りやすく伝えられている。

iv) 【流暢さ】 5文で20~30秒程度、2回以上つまずらずに話すことができる。

v) 【内容】 クラスメイトであるグループのメンバーに、自分のことをわかりやすく、魅力的に伝えることができる。相手が自分に興味をもちそうな情報を伝えることができる。

**発展1 質疑応答**

自己紹介のあと、グループのメンバーから1つずつ自己紹介の内容に関する質問をさせ、それに答えるよう指導する。質問は単純なものでよい。

**例1** I have a dog. His name is Leo.  
 -What kind of dog is Leo?  
 -What color is Leo?

**例2** I like soccer. I’m a member of the soccer team.  
 -What position do you play in the team?  
 -What is your favorite soccer team?

また、質問に対する返事は、“Chihuahua.”や“Black.”のように1語でもよいが、“He is a chihuahua.”と1文で答えられた場合は加点したい。

**発展2 ピアレビュー**

自己紹介を聞いたあと、〈Delivery | 表現・態度〉、〈Pronunciation | 発音〉、〈Fluency | 流暢さ〉、〈Contents | 内容〉の4つの観点で評価させる。「ふつう」を避けるために4点評価でもよいが、ここではExcellent, Good, Average の3段階評価とする。

**How were the other members’ speeches?**

■ **Delivery** 「表現・態度」  
 …聞き手とアイコンタクトがとれていたか。あいさつは聞き手に話しかけるように言えていたか。

■ **Pronunciation** 「発音」  
 …/l/ と /r/ の発音をはじめ、英語らしい発音とアクセントで発話できていたか。また、文の中で特に重要な情報ははっきり聞き取りやすく伝えられていたか。

■ **Fluency** 「流暢さ」  
 …2回以上つまずらずに話すことができたか。

■ **Contents** 「内容」  
 …聞き手が、話し手のことをもっと知りたいと思うような興味深い自己紹介だったか。

3: Excellent 2: Good 1: Average

Your name: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_’s speech

Delivery	3・2・1
Pronunciation	3・2・1
Fluency	3・2・1
Contents	3・2・1

\_\_\_\_\_’s speech

Delivery	3・2・1
Pronunciation	3・2・1
Fluency	3・2・1
Contents	3・2・1

\_\_\_\_\_’s speech

Delivery	3・2・1
Pronunciation	3・2・1
Fluency	3・2・1
Contents	3・2・1

**Greetings**

- Hello, everybody.
- Good morning/afternoon, everyone.
- Good morning/afternoon, class.
- Hello there, Alex.
- How are you this morning/afternoon, Zoey?
- Haruka, how are you today?

**Beginning**

- Let's begin.
- Let's begin today's lesson.
- Is everybody ready to begin?
- It's time to begin.
- Are you ready?
- Everybody, now ....
- Pay attention.
- Stop talking and be quiet.
- Open your textbook to page ....
- Turn to page ....
- Look at page ....

**Instructions**

- Listen carefully.
- Listen to me.
- Listen to the tape/CD/conversation.
- Repeat after me.
- Repeat after the tape/CD/conversation.
- Listen and repeat.
- Again, please.
- Put your hands up/down.
- Raise your hand.
- Don't be shy./No need to be shy.

**Pair/Group Work**

- Make pairs/groups (of four).
- Find a partner.
- Work with the person next to you.
- Share your ideas with the group/class.

**Time keeping**

- You have ten minutes to do this.
- Hurry up!
- Take your time.
- There are two minutes left.
- You have three more minutes.
- You have only one minute left.
- Time's up.

**Examination**

- Close your books.
- Put things/everything away.

- (配布して) Take one and pass them back.
- Does everybody have one?
- Make sure that you have one question sheet and one answer sheet.
- (Don't forget to) write your name.
- Do not open the booklet/question sheet until you are told to do so.
- Now, start the test.
- You have five minutes left.
- Time's up. Put your pencils down.
- Pencils down. – Stop writing.
- Pass your answer sheets to the front.

**Comprehension**

- Did you get it?
- Are you with me?
- Do you understand everything so far?
- Do you have any questions?
- Does anyone have any questions?
- Any questions?

**Making sure**

- What did you say?
- One more time, please. – Once more, please.
- Say it again, please.
- Please say it again in a loud voice.

**Feedback and encouragement**

- Excellent!/Fantastic!/Marvelous!
- (That's) great!/Well done.
- You did a great job.
- (活動中に) You're doing a great job!
- Keep it up!
- Keep up the good work!
- I'm very impressed.
- Don't worry (about it).
- (失敗に対して) Good try!
- I'm sure you'll do better next time.
- You're making progress.
- Don't be afraid to make mistakes.
- Go ahead! Have another try!
- You're almost there./Almost!
- You're very close, but that's not quite right.

**Closing**

- It's time to finish now.
- I'm afraid we've run out of time.
- That's all for today.
- We'll continue/finish this chapter next week.
- We'll do the rest of this chapter next time.

2. Teacher's Book

※実際の紙面はAB判(カラー)です。

LESSON 1

Meeting New People

自分のことを話す・相手のことをたずねる

**Start-Up** Alexが国際交流部の活動場所である視聴覚室に向かおうとしています。

音声 CD のインデックスを表示

**Tips** : 英語で会話をするときには、相手の名前を口に出して言うことが大切です。また、にっこり笑ってゆっくり、はっきり話すと、初対面の人ともスムーズなやりとりができるでしょう。

**Forms** 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

**Expressions** 相手の話の内容に合わせて、“Sure.”などのあいづちを打つことで会話を続ける

🔍 会話中に出てくる「あいづち」表現を探してみよう！

**Sounds** /l/と/r/の発音

- /l/…舌の先を上前歯の歯ぐきに押しつけて「ル」と発音する。  
Alex, glad, let's, class
- /r/…口を丸く「ウ」の形にして舌の先をどこにもつけずに「ル」と発音する。  
right, room, everyone, really

**Talk**

- Alex と Haruka になりきって会話をしてみよう！

Alex Lee先生に勧められて国際交流部に入った。楽しい部活だといいなあ。

**A 「(今)～だ」と伝える**

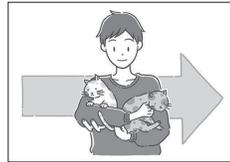
現在形(状態動詞)

- ① I like cats very much.
- ② My brother has two bikes.

私は猫が大好きだ。  
兄は自転車を2台持っている。

**F-Guide**

- ① 好きなものやほしいもの、知っていることや思っていることなど、現在の心理や感覚を表すときは動詞の現在形を使う。
- ② 持っているものや住んでいる所のような現在の状態を表すときも、動詞の現在形を使う。



Write one sentence about yourself and one sentence about someone around you. One of the sentences should use the negative. You can use the words in the list below.

**Task 1** 与えられた語句を参考に、自分のことについて1つ、ほかの人のことについて1つ、英文を書いてみよう。どちらか1つは否定文にしよう。

(例) I **have** a little **brother**. He **is** five years old.  
I **don't like** **summer**. It's too hot.

動詞	be / like / want / have / live in
人・もの・こと	brother / sister / summer / winter / movies / baseball / a smartphone / the tennis club

状態を表す動詞：  
like / love / have / want / hope / know / think / live / resemble / believe / understand など

I have a little sister. / She doesn't have a smartphone.

Taskの解答例を掲載

**B 「(いつも)～する」と伝える**

現在形(動作動詞)

- ③ My mother drives to work *every day*.
- ④ My cat *usually* sleeps on the sofa.

母は毎日、車で仕事に行く。  
私の猫はふだんソファで寝る。

**F-Guide**

- ③ 習慣になっていることや繰り返すことを表すときは、動詞の現在形を使う。
- ④ どのくらいの頻度なのかを表すときは、always 「いつも」、usually 「ふだん(は)」などの副詞を、be 動詞の後ろか一般動詞の前に入れる。

always	>	usually	>	often	>	sometimes	>	never
「いつも」		「ふだん(は)」		「よく」		「ときどき」		「決して～ない」

**Vocabulary**

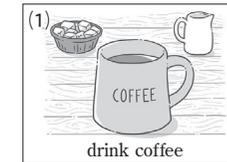
<input type="checkbox"/> live in ...	…に住んでいる	<input type="checkbox"/> 数+year(s) old	～歳	<input type="checkbox"/> video game	テレビゲーム
<input type="checkbox"/> resemble	動) ～に似ている	<input type="checkbox"/> too	副) ～すぎる	<input type="checkbox"/> drink	動) ～を飲む
<input type="checkbox"/> hope	動) ～を願う、望む	<input type="checkbox"/> smartphone	名) スマートフォン	<input type="checkbox"/> coffee	名) コーヒー
<input type="checkbox"/> understand	動) ～を理解する	<input type="checkbox"/> tennis club	テニス部	<input type="checkbox"/> get up	起床する

**Task 2** ペアになって、下のイラストから1つ選び、自分がいつもすることなら“I...”, しないことなら“I don't...”と書き出してパートナーに伝えよう。パートナーはE-Guideを参考に、あいづちを打って反応しよう。

(例) A: I **play video games** every day. Make pairs and tell your partner about what you usually do or don't do. Your partner should respond using the phrases in the E-Guide.

B: Really? Me, too.

- (1) A: I don't drink coffee.  
B: Really? I like coffee very much.
- (2) A: I get up at 6:30 every morning.  
B: Me, too.



**E-Guide あいづち**

- Sure. 「もちろん、そうだよ」
- Really? 「そうなの?、本当に?」
- I see. 「なるほど」
- Me, too. 「私も」
- That's nice[good/great]. 「それはいいね」
- That's too bad. 「それは残念だね、気の毒に」

**C 「(今)～している最中だ」と伝える**

現在進行形(am/are/is-ing)

- ⑤ I'm waiting for the school bus.
- ⑥ My cat is getting fat these days.

私はスクールバスを待っている。  
私の猫は最近太ってきている。

**F-Guide**

- ⑤ 「(今)～している最中だ」という、行われている最中の動作を表すときは、現在進行形(am/are/is+動詞のing形)を使う。Aのような状態を表す場合は進行形にしない。
- ⑥ 変化している最中のことを表すときも、現在進行形を使う。



Make pairs and talk about the people in the illustrations.

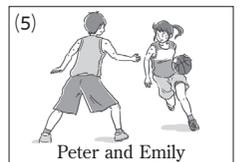
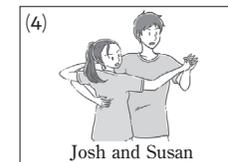
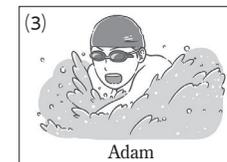
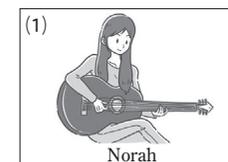
**Task 3**

ペアになって、イラストの人物が何をしているのか話してみよう。

(例) A: What is **Tim** doing?

B: He **is drinking water**.

- (1) A: What is Norah doing?  
B: She is playing the guitar.
- (2) A: What is Cindy doing?  
B: She is drawing a picture.
- (3) A: What is Adam doing?  
B: He is swimming (in the pool).
- (4) A: What are Josh and Susan doing?  
B: They are dancing.
- (5) A: What are Peter and Emily doing?  
B: They are playing basketball.



**SELF-CHECK** 到達度を自己評価してみよう

- A** 自分や身近な人・ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形|状態動詞)
- B** 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形|動作動詞)
- C** 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)
- Expressions** 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

1-23 Write 自己紹介の文を書く

次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

Hints for Logical Writing

自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての〈大まかな情報〉、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらうための〈より個人的な情報〉という順で書くと、伝わりやすくなります。

1-24 Share 自己紹介をする

グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

1 あいさつ

1 Hi, everyone.

2 大まかな情報

2 名前や(あれば)ニックネーム

My name is Sato Hinata. Please call me Hina.

出身校、住んでいる場所など

I went to Sakura Junior High School.

I live in Nanairo City.

3 より個人的な情報

3 好きなもの・ことなど

I like tennis very much.

4 あいさつ

4 Nice to meet you.

Plus

- 2 住んでいる場所について一言プラス。(I live in Kagawa. It's famous for *udon*.)
- 3 好きなもの・ことについて一言プラス。(I want to join the school tennis club.)  
+ 家族やペット、趣味について一言。(I have a white cat, and her name is Momo.)

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう ③...◎, ②...○, ①...△

- 自分のことを説明する英文を書くことができた。
- 示された展開にそって自己紹介をすることができた。
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。

③ ② ①  
③ ② ①  
③ ② ①

Keep Talking



Scene 1 移動する

Model Dialogue

- A: I'd like a ticket to Oxford, please.  
 B: Single or return?  
 A: Return, please.  
 B: Do you want a reserved seat?  
 A: No, thanks. What time does the next train leave?  
 B: The next train leaves at 11:45 from platform 5.



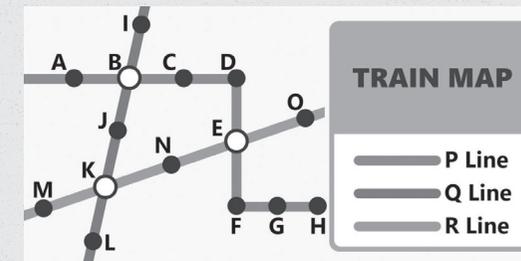
- A: オックスフォードへの切符をお願いします。  
 B: 片道ですか、往復ですか。  
 A: 往復切符をお願いします。  
 B: 指定席になさいますか。  
 A: いいえ。次の列車は何時に出ますか。  
 B: 次の列車は11時45分発で、5番ホームからです。

Role-play ペアになって、モデル会話のAとBの役を決めてRole-Playしよう。

Task ペアになって、イラストを参考に、現在いる駅と目的地の駅を決めて、そこまでの行き方を話してみよう。路線名や駅名は身近なものに変えても構いません。

(例) 現在地: L 駅, 目的地: O 駅

- A: I'd like to go to O Station from L Station. How do you get there?  
 B: First, take Q Line to K Station. Then, transfer to R Line. O Station is the third station after K Station.



2-25 Expressions

- take P Line (P線に乗る)
- transfer to Q Line (Q線に乗り換える)
- change trains at E Station (E駅で乗り換える)
- train for H Station (H駅行きの電車)
- It takes about fifteen minutes. (約15分かかります)
- It costs 380 yen. (380円かかります)

### 3. 補助プリント

#### ① Introduction 練習シート

LESSON 0	教科書 p.5	年 組 番
Introduction 練習シート		氏名

#### ■ 英語の語順 ■

##### 1. 〈主語 + 動詞 (SV)〉の語順

教科書 p.8

**Exercises** [ ]内の動詞を適切な形に変え、後ろに1語加えて英文を完成させなさい。

- Jill [ get up ] ( ) 7:00 every morning.  
Jill \_\_\_\_\_ 7:00 every morning.
- She [ go ] ( ) the station at 7:30.  
She \_\_\_\_\_ the station at 7:30.
- She always [ listen ] ( ) her favorite songs on the train.  
She always \_\_\_\_\_ her favorite songs on the train.
- She [ arrive ] ( ) school at 8:15.  
She \_\_\_\_\_ school at 8:15.
- Her friend, Jina [ come ] ( ) Jill's desk and says, "Good morning!"  
Her friend, Jina \_\_\_\_\_ Jill's desk and says, "Good morning!"

##### 2. 〈主語 + 動詞 + 補語 (SVC)〉の語順

▶主語について説明しよう

教科書 p.8

**Exercises** [ ]内から適切な動詞を、〈 〉内から適切な補語を選び、英文を完成させなさい。

ただし、動詞と補語はそれぞれ1回ずつのみ使うことができます。

- Emma's brother will \_\_\_\_\_ next spring.
- Mr. Brown \_\_\_\_\_ to hear the news.
- In this park, leaves \_\_\_\_\_ in autumn.
- If you do your best, your dream will \_\_\_\_\_.
- Please \_\_\_\_\_. The baby is sleeping!

[ looked / come / become / be / turn ]

〈 true / yellow / quiet / a college student / happy 〉

▶名詞の使い方を確認しよう

教科書 p.9

**Exercises** 次の名詞のうち、数えられる名詞に a か an をつけなさい。

[ watch / soup / month / umbrella / job / butter / money / homework / music / apple ]

\_\_\_\_\_

▶動詞の使い方を確認しよう

教科書 p.9

**Exercises** 次の動詞の変化表の空所を埋めなさい。

原形	過去形	過去分詞
come		
give		
play		
say		
eat		
hear		
drink		
speak		

##### 3. 〈主語 + 動詞 + 目的語 (SVO)〉の語順

▶他動詞を使って文をつくらう

**Exercises** [ ]内の語句を使って、英文を完成させなさい。

ただし、動詞は必要なら適切な形に変えること。

- Kanata はメガネをかけている。[ wear / glasses ]  
Kanata \_\_\_\_\_.
- Zoey は新しいスマートフォンを買った。[ buy / smartphone ]  
Zoey \_\_\_\_\_.
- あとで私に電話してください。[ call / later ]  
\_\_\_\_\_.
- Alex は先週、大きな犬小屋を建てた。[ build / doghouse ]  
Alex \_\_\_\_\_ last week.
- Haruka は今朝、朝食を食べなかった。[ eat / breakfast ]  
Haruka \_\_\_\_\_ this morning.

## ② Grammar 導入シート

### Lesson 1 Grammar 導入シート：自分のことを話す・相手のことをたずねる

教 p. 19~22

[文法ポイント]：現在のことは現在形で表す

I **play** soccer.

(いつもすること→サッカーをしている)

I **'m waiting** for the bus.

(~をしている最中→バスを待っている)

現在形を使うと、住んでいるところ、入っている部活、趣味や特技など、**現在の状態やいつもすること**を表せます。また、今のことに対して「~をしている最中です」と言いたいときには、**現在進行形**を使います。

#### A 「(今) ~だ」と伝える

① I **like** cats very much.

(私は猫が大好きだ [心理的な状態])

② My brother **has** two bikes.

(兄は自転車を2台持っている [一般的な状態])

■ **動詞の現在形**：心理的な状態や一般的な状態を表す。

【Try!】日本語の意味に合うように、[ ] の動詞を適切な形にして、英文を完成させなさい。

1. She ( ) my name. [know] (彼女は私の名前を知っている)

2. My grandfather ( ) in Saitama. [live] (私の祖父は埼玉に住んでいる)

#### B 「(いつも) ~する」と伝える

③ My mother **drives** to work every day.

(母は毎日、車で仕事に行く [習慣的な動作])

④ My cat **usually sleeps** on the sofa.

(私の猫はいつもはソファで寝る)

■ **動詞の現在形**：習慣的な動作を表す。

【Try!】日本語の意味に合うように、[ ] の動詞を適切な形にして、英文を完成させなさい。

1. My father ( ) golf on weekends. [play] (私の父は週末にゴルフをする)

2. He sometimes ( ) a book before I go to bed. [read] (彼はときどき寝る前に読書をする)

#### C 「(今) ~している最中だ」と伝える

⑤ I **'m waiting** for the school bus.

(私はスクールバスを待っている)

⑥ My cat **is getting** fat these days.

(私の猫は最近太ってきている)

■ **現在進行形**：〈am / are / is + 動詞の ing 形〉「(今) ~している最中だ」。変化している最中のことも表す。

【Try!】日本語の意味に合うように、[ ] の動詞を適切な形にして、英文を完成させなさい。

1. I \_\_\_\_\_ a newspaper now. [read] (私は今、新聞を読んでいます)

2. The days \_\_\_\_\_ longer. [get] (日が長くなってきている)

### Lesson 2 Grammar 導入シート：休日にしたことを説明する

教 p. 23~26

[文法ポイント]：過去のことは過去形で表す

I **was** sick yesterday.

(過去の状態→昨日病気だった)

I **was studying** last night.

(過去のある時点でしていたこと→昨夜勉強をしていた)

#### A 「(あのとき) ~だった/~した」と伝える

① My father **looked** tired yesterday.

(父は昨日、疲れているようだった)

② I **went** to see a movie last Sunday.

(私は先週の日曜日、映画を観に行った)

■ **動詞の過去形**：過去の状態や動作、出来事を表す。

【Try!】日本語の意味に合うように、[ ] に適切な語を入れなさい。

1. I [ ] that book last week. (私は先週、その本を買った)

2. I [ ] a letter to my friend in Canada yesterday. (私は昨日、カナダにいる友達に手紙を書いた)

#### B 「(あのとき) ~している最中だった」と伝える

③ I **was walking** my dog around nine this morning. (今朝9時ごろ、私は犬の散歩をしていた)

④ The sun **was setting** when we **arrived** at the beach. (私たちが浜辺に着いたとき、太陽は沈みつつあった)

■ **過去進行形**：〈was / were + 動詞の ing 形〉「~しているところだった」

【Try!】[ ] の動詞を適切な形にして、英文を完成させなさい。

1. My father ( ) eating lunch at noon with my mother. [is]

2. My sister and I ( ) watching TV when my mother came home. [is]

#### C 「(昔は) よく~した/~だった」と伝える

⑤ I **used to go** fishing with my father.

(昔は父とよく釣りに行ったものだ)

⑥ There **used to be** a lot of fish in this river.

(この川にはかつて、たくさんの魚がいたものだ)

■ **〈used to + 動詞の原形〉**：今とは違う過去の動作や状態

【Try!】日本語の意味に合うように、[ ] に適切な語を入れなさい。

1. I [ ] to play soccer after school. (私は昔はよく放課後にサッカーをしたものだ)

2. There [ ] to be a big tree in front of the station. (その駅前には大きな木があった)

### ③ Write 活動シート

LESSON 1	教科書 p.22	年 組 番
Write 活動シート		氏名

■ 次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

**Step 1** 自分について知ってほしいと思うことを書き出してみよう。

▶あだ名(Please call me .... / My friends call me ....)

\_\_\_\_\_

▶好きなこと(I like/love ....)・興味をもっていること(I'm interested in ....)

\_\_\_\_\_

▶住んでいる場所(I live in .... / I live near ....)・所属(I am a member of the .... / I belong to the ....)

\_\_\_\_\_

▶その他(兄弟やペットのこと、ふだんしていることなど)

\_\_\_\_\_

**Step 2** 自己紹介の最初と最後に言うあいさつの文を書いてみよう。

▶【最初】「こんにちは」とクラスメイトに語りかけるあいさつ。授業の時間帯を考慮してもよい。

\_\_\_\_\_

▶【最後】「よろしくお願ひします」、「会えてうれしいです」など、自己紹介の締めあいさつ。

\_\_\_\_\_

**Step 3** Step 1 で書き出した内容から、より伝えたいと思うことを選び、ヒントに従ってわかりやすく整理しよう。その前後に、Step 2 で書いたあいさつを追加すると、自己紹介の文章が完成する。

**Hint** 情報は、自分についての大まかな情報→より個人的でくわしい情報の順に並べよう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

### ④ Share 活動シート

LESSON 1	教科書 p.22	年 組 番
Share 活動シート		氏名

■ グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

あいさつ	Hi, everyone.
大まかな情報	My name is Sato Hinata. Please call me Hina. I went to Sakura Junior High School. I live in Nanairo City.
より個人的な情報	I like tennis very much.
あいさつ	Nice to meet you.

**Step 1** グループをつかって、自己紹介をする順番を決めよう。

**Step 2** Write でつくった原稿をなるべく見ずに、1人ずつ自己紹介をしよう。

▶自己紹介のためのメモ(話すときは見ないようにしよう！)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

▶話すときには下記の4つのポイントを意識しよう。

- ・Delivery「表現・態度」 … アイコンタクトをとる。あいさつは聞き手に語りかけるように言う。
- ・Pronunciation「発音」 … /l/と/r/の発音に気をつける。文の中で特に重要な情報ははっきり言う。
- ・Fluency「流ちょうさ」 … 2回以上つまらずに話す。
- ・Contents「内容」 … あなたのことをもっと知りたいと思うような興味深い内容にする。

**Step 3** 1人1つずつ自己紹介の内容に関する質問をしよう。質問されたら答えよう。

**例** I have a dog. His name is Leo.  
— What kind of dog is Leo?  
— What color is Leo?

▶質問のためのメモ(話すときは見ないようにしよう！)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

▶回答のメモ(質問に返事をもらったなら書きとめよう)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 4. 小テスト・評価問題集

### ① 評価問題

1. 動詞の時制	LESSON 1~4	年 組 番	
<b>評価問題</b>		氏名	_____ /100

① ( )内から適切な語(句)を選びなさい。 (3点×4=12点)

- (1) Hikaru ( get / gets ) up at 6:30 every morning.
- (2) Aki ( is going to go to / going to goes to ) the library after school.
- (3) I ( studied / studied ) hard for the exam.
- (4) Did you ( finish / finished ) your homework?

② [ ] から適切な語を選び、必要なら形を変えて英文を完成させなさい。 (4点×4=16点)

- (1) Bill \_\_\_\_\_ a soccer game on TV last night.
- (2) Tracy \_\_\_\_\_ a bath now. Shall I take a message?
- (3) Daniel and Patricia \_\_\_\_\_ each other since they were little.
- (4) I'm \_\_\_\_\_ sixteen years old next month.

[ be / know / watch / take ]

③ ( )内の語句を並べかえて、英文を完成させなさい。  
ただし、下線部の動詞は適切な形にすること。 (5点×5=25点)

- (1) ( give / my birthday / me / for / a cap / my brother ).  
.....
- (2) ( carry / always / with her / Sophia / an umbrella ).  
.....
- (3) ( be / a lot of / used to / trees / there / in this town ).  
.....
- (4) ( finish / you / have / yet / your homework )?  
.....
- (5) ( meet / the convenience store / we / in front of / will ).  
.....

④ 次の各文の誤りを訂正して、全文を書きなさい。 (6点×4=24点)

- (1) サカモト先生は学校の近くに住んでいる。  
Ms. Sakamoto is living near our school.

.....

- (2) 宿題を終えたら、私はマディソンとテニスをするつもりだ。  
I will play tennis with Madison when I will finish my homework.

.....

- (3) 明日は、雨は降らないようだ。  
It's going to not rain tomorrow.

.....

- (4) エイデンは先週2回遅刻した。  
Aiden has been late for school twice last week.

.....

⑤ 次の日本語の意味に合う英語を作りなさい。 (6点×3=18点)

- (1) 私はたいてい、歩いて学校に行きます。  
.....
- (2) 昨日からずっと、雪が降り続けている。  
.....
- (3) Jamie が戻ってきたら、始めましょう。  
.....

⑥ あなたがほぼ毎朝、または毎晩していることを紹介しなさい。  
起きる時間や寝る時間、よく食べるものなどを自由に含めて、3~4文書きなさい。 (5点)

.....  
.....  
.....  
.....

② 小テスト

Lesson 1 小テスト	年 組 番	月 日
	氏名	_____ /20

1. 日本語に合うように, [ ]内の動詞を適切な形にして, 英文を完成させなさい。 (1点×4=4点)

- (1) オースティンは動物が大好きです。  
Austin ( ) animals. [ love ]
- (2) カレンは毎朝, 自分のお弁当を作ります。  
Karen ( ) her own *bento* every morning. [ make ]
- (3) パーカーは今, 公園を走っています。  
Parker ( ) in the park now. [ run ]
- (4) どなたかをお探しですか。  
( ) you ( ) for someone? [ look ]

2. ( )内の語句を並べかえて, 英文を完成させなさい。ただし下線部の動詞は適切な形にすること。

(2点×3=6点)

- (1) ( know / Mr. Jordan / about / a lot / computers ).
- .....

- (2) ( eat / Danny / and milk / usually / some bread ) for breakfast.
- .....

- (3) Be quiet. ( sleep / the next room / Grandpa / is / in ).
- .....

3. [ ] から適切な語を選び, 必要なら形を変えて, 対話文を完成させなさい。 (2点×5=10点)

- (1) A: Hi, Becky. What ( ) you ( )?  
B: I'm watching a drama on TV.
- (2) A: How ( ) you ( ) to school every day?  
B: I usually take the school bus.
- (3) A: You always come to school early. Do you ( ) near here?  
B: No. My house is far from the school, so I leave home early every morning.
- (4) A: Tomorrow is Sam's birthday. What shall we give him for a present?  
B: She ( ) mystery novels, so let's buy her one.
- (5) A: I like coffee with milk and sugar. How about you?  
B: I usually put some milk, but my father ( ) his coffee black.  
[ live / drink / like / come / do ]

5. DVD-ROM データ

① ディクテーション・シート

Lesson 1 ディクテーション・シート	年 組 番	
	氏名	

■ 音声を聞いて, 空所を埋めてみよう。

教科書 p.19 Start-Up

Alex: Excuse me. Are you Haruka?

Haruka: Yes! You're Alex, right?

Alex: That's right. It's nice to ( ) you, Haruka.

Haruka: Glad to meet you, too. Let's go to the classroom. Everyone ( )

( ) for you there.

Alex: Oh, ( )? OK! Let's go.

■ 音声を聞いて, 空所を埋めてみよう。

教科書 pp.20-21 Interactions

A

① I ( ) cats very much.

② My brother ( ) two bikes.

B

③ My mother ( ) to work every day.

④ My cat usually ( ) on the sofa.

C

⑤ ( ) ( ) for the school bus.

⑥ My cat ( ) ( ) fat these days.

## ② Grammar 練習シート

Lesson 1 Grammar 練習シート	年 組 番
	氏名

■ 教科書の例文を参考にして、次の日本語を英語に直しなさい。

□(1) 私は映画が大好きだ。

.....

□(2) Carter はチョコレートが好きではない。

.....

□(3) 私のおばは仙台に住んでいる。

.....

□(4) 私はその歌手を知らない。

.....

□(5) Grace は毎朝牛乳を飲む。

.....

□(6) Mr. Stone は授業中、日本語を話さない。

.....

□(7) 私はときどき横浜の友人に会いに行く（＝訪れる）。

.....

□(8) Jason はたいてい彼の猫と一緒に寝る。

.....

□(9) 私は今、自分の部屋で勉強している。

.....

□(10) Alice はコンピューター室で何をしているのですか。

.....

□(11) 暗くなってきている。

.....

□(12) 父は最近、庭で花を育てている。

.....

## ③ 例文暗唱 & Vocabulary 確認シート

クラス \_\_\_\_\_ 番号 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

例文暗唱 & Vocabulary 確認シート

### Lesson 1 You and the People around You

教 pp.20-21



① I like cats very much.	① 私は猫が大好きだ。
② My brother has two bikes.	② 兄は自転車を2台持っている。
③ My mother drives to work every day.	③ 母は毎日、車で仕事に行く。
④ My cat usually sleeps on the sofa.	④ 私の猫はふだんソファで寝る。
⑤ I'm waiting for the school bus.	⑤ 私はスクールバスを待っている。
⑥ My cat is getting fat these days.	⑥ 私の猫は最近太ってきている。

Voca-Check			
…に住んでいる		テレビゲーム	
動 ～に似ている		動 ～を飲む	
動 ～を願う、望む		名 コーヒー	
動 ～を理解する		起床する	
～歳		名 水	
副 ～すぎる		絵を描く	
名 スマートフォン		プールで泳ぐ	
テニス部		名 バスケットボール	

#### ④ Keep Talking 活動シート

Scene 1	教科書 p.36	年	組	番
Keep Talking 活動シート		氏名		

■ ペアになって、モデル会話の Role-Play をしよう。

**A:** I'd like a ticket to Oxford, please.  
**B:** Single or return?  
**A:** Return, please.  
**B:** Do you want a reserved seat?  
**A:** No, thanks. What time does the next train leave?  
**B:** The next train leaves at 11:45 from platform 5.

**Hint** 下線部は特に相手に伝えたい部分なので、意識してはっきり発話しよう。  
**Plus** パートナーと役を交代してもう一度 Role-Play してみよう。

■ ペアになって、イラストを参考に、現在いる駅と目的地の駅を決めて、そこまでの行き方を話してみよう。路線名や駅名は身近なものに変えても構いません。

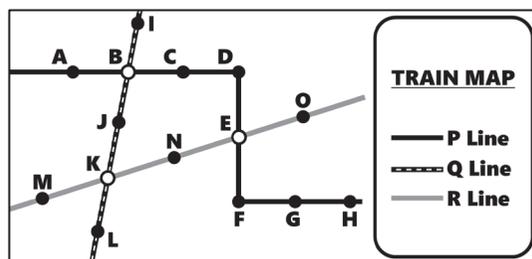
(例) 現在地：L 駅，目的地：O 駅  
**A:** I'd like to go to O Station from L Station. How do you get there?  
**B:** First, take Q Line to K Station. Then, transfer to R Line. O Station is the third station after K Station.

**Step 1** 路線名や駅名を決めて、自分が現在いる駅と目的地の駅を決めよう。

現在地：\_\_\_\_\_ 目的地：\_\_\_\_\_

**Step 2** パートナーに行き方をたずね、パートナーはより早くて乗換が少ない行き方を答えよう。

**Plus** パートナーと役を交代してもう一度話してみよう。



#### Expressions

- take P Line (P 線に乗る)
- transfer to Q Line (Q 線に乗り換える)
- change trains at E Station (E 駅で乗り換える)
- train for H Station (H 駅行きの電車)
- It takes about fifteen minutes. (約 15 分かかります)
- It costs 380 yen. (380 円かかります)

#### ⑤ スピーチをしてみよう！活動シート

教科書 p.38-39	年	組	番
スピーチをしてみよう！	氏名		

■ 自分が一番好きな季節についてスピーチしてみよう！

**Task 1** 導入、本論、結論となる部分のメモを作ろう。

好きな季節	好き、楽しいと思うこと	具体的な例
	[Blank space for notes]	

**Task 2** グループになって、順番に、Task 1 で作ったメモをもとに一番好きな季節について話してみよう。

+ Plus + パートナーは、スピーチを聞いたら「なるほど」「すごい！」など一言感想を伝えよう。

**E-Guide** 【理由】 because ... / This is because [That's because] ...

【例示】 for example / ... such as ~

【結論】 for this reason [for these reasons] / therefore

**Task 3** Task 2 で話したことをもとに、一番好きな季節についてのスピーチ原稿を書こう。

+ Plus + 10 語以上の文を 1 文以上含めてみよう。

導入	
Opinion	
本論	
Reason/Example	
結論	
Opinion	

スピーチをしたら、セルフチェック & ピアチェックをしてみよう。

CHECK	4	3	2	1
論理構造	具体例を入れて、説得力のある説明をすることができた。	複数の理由を明確に説明することができた。	理由を説明することができた。	説明が理由になっていなかった。
発話・表現	アイコンタクトを取り、身振り手振りを交えて話すことができた。	メモを見ずに、聞き取りやすく話すことができた。	ときどき顔を上げて話すことができた。	ずっとメモを見ながら話していた。
正確性	つづりや文法の間違いがなく、10 語以上の文も書くことができた。	おおむねつづりや文法の間違いがなく書くことができた。	つづりや文法の間違いが 1 文につき 1 つ程度あった。	つづりや文法など適切な英語で書くことができなかった。

## スピーチをしてみよう！ EVALUATION SHEET

Class: \_\_\_\_\_ Number: \_\_\_\_\_ Name: \_\_\_\_\_

### ■Delivery「表現・態度」

…聞き手とアイコンタクトがとれていたか。聞き手に話しかけるように言えていたか。身振り手振りを交えて聞き手の注意を引いていたか。

### ■Pronunciation「発音」

…英語らしい発音とアクセントで発話できていたか。また、抑揚をつけて文の中で特に重要な情報ははっきり聞き取りやすく伝えられていたか。

### ■Fluency「流暢さ」

…スピーチ原稿を見ずに、つまらずに話すことができたか。

### ■Contents「内容」

…分かりやすい説明であったか。内容に説得力があったか。説明がきちんと理由として機能していたか。

How were the other members' speeches? (4: Excellent, 3: Good, 2: Fair, 1: Poor)

<p>• _____'s speech</p> <p>Delivery 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Pronunciation 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Fluency 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Contents 4 · 3 · 2 · 1</p>	<p>• _____'s speech</p> <p>Delivery 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Pronunciation 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Fluency 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Contents 4 · 3 · 2 · 1</p>
<p>• _____'s speech</p> <p>Delivery 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Pronunciation 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Fluency 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Contents 4 · 3 · 2 · 1</p>	<p>• _____'s speech</p> <p>Delivery 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Pronunciation 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Fluency 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Contents 4 · 3 · 2 · 1</p>
<p>• _____'s speech</p> <p>Delivery 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Pronunciation 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Fluency 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Contents 4 · 3 · 2 · 1</p>	<p>• _____'s speech</p> <p>Delivery 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Pronunciation 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Fluency 4 · 3 · 2 · 1</p> <p>Contents 4 · 3 · 2 · 1</p>

## ⑥ 語順トレーニング

語順トレーニング①(SV)	年 組 番	月 日
	氏名	

A ( )内の語句を並べかえて、日本語の意味に合う英文をつくりなさい。

- その子はうれしそうに笑った。( happily / smiled / the child )
- 石油価格が急激に上がった。( increased / sharply / the price of oil )
- きみのスマホはテーブルの上にあるよ。( on / is / your smartphone / the table )
- 祖父母は鹿児島に住んでいます。( Kagoshima / in / my grandparents / live )
- 試合は7時に始まりました。( seven / at / started / the game )
- 私はお昼ごろに駅に着きました。( around / the station / I / at / noon / arrived )

B 与えられた語句を使って、日本語の意味に合う英文をつくりなさい。

- 彼は大声で話しました。[ loudly / spoke ]
- 父は注意深く車の運転をします。[ carefully / drives ]
- 彼らは家に帰りました。[ home / went ]
- 私は歩いて学校に行きます。[ school / walk ]
- 彼は夜中まで一生懸命に勉強した。[ hard / midnight / studied ]
- 私は昨日、図書館で勉強しました。[ studied / the library / yesterday ]

### ★チェックポイント(SV)

- 英語の語順の基本は〈主語＋動詞〉。この語順で使う動詞は自動詞。
- 主語と動詞だけで意味を表すこともできる (He smiled.)。
- 〈主語＋動詞〉のあとに情報を必要とする場合もある (He lives in Tokyo.)。
- 「どのように」「どこで [で]」「いつ」といった情報は動詞のあとに加える。

## 指導用パワーポイント

### 授業や指導内容に合わせて自由に改変できるフレキシブルさが魅力

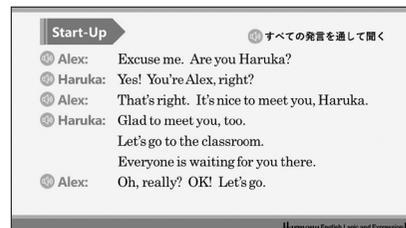
- 教科書の内容をわかりやすく大きく表示し、音声を活用して授業を行うことができます。
- 校内フリーライセンスで、先生ご自身でスライドを追加・削除することができます。
- 各ファイル 5MB 以下で、タブレットなどでも軽快に動作します。

### 各レッスンの収録内容

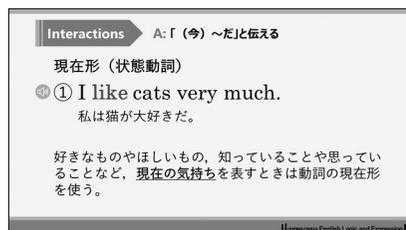
- 各レッスンの冒頭にもくじのスライドがあり、学習進度に合わせて簡単に該当項目のスライドにジャンプできます。



- Start-Up**：導入のモデル会話をマンガつきとスクリプトで確認できます。音声は会話全体を通して流す音声と発言者ごとの音声2種類があります。



- Interactions**：例文と解説を確認できます。
- Task**：学習する文法を使用して書く／ペアで話す活動ができます。英語で授業を行うための英語の指示文音声も収録しました。



- Active Learning**：教科書のモデル英文の論理構造を確認できます。



## フラッシュカード (Excel マクロファイル)

- 各レッスンの語句と例文をフラッシュカードとして表示するツールを用意しました。
- 表示形式は「英語のみ」「日本語のみ」「両方表示」、表示順は「教科書掲載順」「ランダム」を選択できます。
- フラッシュカード表示するリスト（「語句」「例文・英文」「自由登録」）は編集可能です。「自由登録」シートは空白になっているので、任意のフラッシュカードを作成できます。



- 「英語のみ」「日本語のみ」「両方表示」から選択可能。
- 「順番通り」「ランダム」から選択可能。
- 「語句」「例文・英文」「自由登録」の3シートから選択可能。
- 全画面表示で、より見やすくフラッシュカードを表示可能。

	A	B	D	E	F	G	H
1	LESSON	番号	日本語				
2	1	1	私は猫が大好きだ。				
3	1	2	兄は自転車 2 台持っている。				
4	1	3	母は毎日、車で仕事に行く。				
5	1	4	私の猫はいつもソファで寝る。				
6	1	5	私はスクールバスを待っている。				
7	1	6	私の猫は最近太ってきている。				
8	2	7	父は昨日、疲れているようだった。				
9	2	8	私は先週の土曜日、映画を観に行った。				
10	2	9	今朝、時ごろ、私は犬の散歩をしていた。				
11	2	10	私たちが浜辺に着いたとき、太陽は沈みつつあった。				
12	2	11	昔は父とよく釣りに行ったものだ。				
13	2	12	この川にはかつて、たくさんの魚がいたものだ。				
14	3	13	夕食のあとで宿題をします。				
15	3	14	母は10分後に戻ってきます。				
16	3	15	私は吹奏楽部に入るつもりだ。				
17	3	16	もうすぐ雨が降りそうだ。				
18	3	17	ユキが戻ってきたら、ミーティングを始めます。				
19	3	18	もし明日暇があれば、ユキと私は動物園に行きます。				
20	4	19	飛行機はすでに出発してしまっている。				
21	4	20	私の両親はちょうど旅行から戻ったところだ。				
22	4	21	私は海外旅行に3回行ったことがある。				
23	4	22	これまでにオーストラリアに行ったことはありますか？				
24	4	23	子どものころからずっと、コアラを抱きたいと思っている。				
25	4	24	父は2時間ずっと、車を運転し続けている。				
26	5	25	生徒は午前7時から午後の時まで体育館を使用できます。				
27	5	26	授業中にスマートフォンを使っていいですか。				
28	5	27	校則には従わなければならない。				
29	5	28	今日は制服を着なくてもいいですよ。				
30	5	29	あなたは本を図書館に返却すべきだ。				
31	5	30	この数学の問題を手伝ってくださいませんか。				
32	6	31	だれでも間違いをすることがある。				
33	6	32	あの女性は困っているのかも知れない。				

- フラッシュカードとして表示するリストは、「語句」「例文・英文」「自由登録」の3種類があり、それぞれ語句や例文を追加したり削除したりすることが可能。
- Excel データなので、リストから語句や例文をコピー＆ペーストしてプリントや小テスト作成に活用可能。

「高等学校 論理・表現 I」(論 I 716) シラバスおよび評価規準

科 目	論理・表現 I	単位数	2	学 年	1
使用教科書	(論 I 716) Harmony English Logic and Expression I (いづな書店)				
副教材など	同教科書準拠ワークブック				

学習の到達目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。
---------	---

評価の観点		
① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既得の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

学期	月	レッスン名	評価のポイント	①	②	③	評価方法	考 査
				☑	☑	☑		
1 学期	4 月	Lesson 1 Meeting New People	<b>【題材】</b> 自己紹介 <b>【題材に関するタスク】</b> ・自己紹介の会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・自己紹介に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・現在形、現在進行形について学んで理解する。 ・現在形、現在進行形を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・「あいづち」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「あいづち」表現を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1 学期 中間 考査
	5 月	Lesson 2 Last Weekend	<b>【題材】</b> 休日・週末 <b>【題材に関するタスク】</b> ・休日・週末に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・休日・週末に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・過去形・過去進行形について学んで理解する。 ・過去形・過去進行形を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・「意見・感想」を表す表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「意見・感想」を表す表現を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
	6 月	Lesson 3 Weekend Plans	<b>【題材】</b> 予定 <b>【題材に関するタスク】</b> ・予定に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・予定に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・未来形について学んで理解する。 ・未来形を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・「疑問詞を使った」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「疑問詞を使った」表現を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1 学期 期末 考査
	7 月	Lesson 4 A Short Trip	<b>【題材】</b> 旅行・体験 <b>【題材に関するタスク】</b> ・旅行・体験に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・旅行・体験に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・現在完了形・現在完了進行形について学んで理解する。 ・現在完了形・現在完了進行形を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・「話しかける」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「話しかける」表現を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

「高等学校 論理・表現 I」(論 I 716) CAN-DO リスト

科 目	論理・表現 I	単位数	2	学 年	1
使用教科書	(論 I 716) Harmony English Logic and Expression I (いづな書店)				

■CEFR CAN-DO リストに基づく3種類の技能領域を下記のように記載する。

- ・ Spoken Interaction … 話すこと (やりとり)
- ・ Spoken Production … 話すこと (発表)
- ・ Writing … 書くこと

■学習指導要領に基づく学習評価の3つの観点を下記のように記載する。

- ・ 知識・技能 … 【知】
- ・ 思考・判断・表現 … 【考】
- ・ 主体的に学習に取り組む態度 … 【態】

LESSON 1 Meeting New People 自分のことを話す・相手のことをたずねる			
文 法	現在形・現在進行形	機能表現	あいづち
話すこと (やりとり)		話すこと (発表)	書くこと
<input type="checkbox"/>	現在形・現在進行形を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 <input type="checkbox"/> あいづちの表現を適切に用いて、会話を続けることができる。 ▶【知】 <input type="checkbox"/> 事柄や話題について、内容を整理し、現在進行形などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task <input type="checkbox"/> モデル会話の人物になりきって、海外からの留学生を歓迎することができる。 ▶【態】 Start-Up <input type="checkbox"/> グループになって自己紹介をし、ほかのメンバーの自己紹介を聞いて質問したり感想を伝えたりできる。 ▶【態】 Share	<input type="checkbox"/> 現在形・現在進行形を適切に用いて、自分のことや身の回りのひとつについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share <input type="checkbox"/> 新しいクラスメイトに知ってほしいことを整理して、自己紹介をすることができる。 ▶【考】 Share <input type="checkbox"/> 自己紹介の冒頭・しめくくりでは、クラスメイトに対し、語りかけるようにあいづちを述べるができる。 ▶【態】 Share	<input type="checkbox"/> 状態動詞・動作動詞の現在形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> 頻度を表す副詞を適切な位置に配して、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> 現在進行形が表す時制を正しく理解し、状況を表す英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> be 動詞・一般動詞の現在形を用いて、自己紹介の原稿をつくることができる。 ▶【知】 Write
LESSON 2 Last Weekend 休日にしたことを説明する			
文 法	過去形・過去進行形	機能表現	主観と客観の区別
話すこと (やりとり)		話すこと (発表)	書くこと
<input type="checkbox"/>	過去形・過去進行形を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 <input type="checkbox"/> 実際にしたこと (事実) と、それをして思ったこと (感想) を区別して伝えることができる。 ▶【考】 <input type="checkbox"/> 事柄や話題について、内容を整理し、過去形・過去進行形などを用いて伝えた	<input type="checkbox"/> 過去形・過去進行形を適切に用いて、最近したことについて説明することができる。 ▶【知】 Task, Share	<input type="checkbox"/> 過去形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> 過去進行形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> used to ...を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write

「高等学校 論理・表現Ⅰ」(英Ⅰ 716) 年間授業計画

科目	論理・表現Ⅰ	単位数	2	学年	1
使用教科書	(論Ⅰ 716) Harmony English Logic and Expression I (いづな書店)				
副教材など	同教科書準拠ワークブック				

月	課	レッスontitle・話題	言語材料	言語のはたらき	配当時間	
4		Introduction 「やりとり」「書く」「発表」のためのウォーミングアップ	英語の語順／名詞・動詞の使い方／文の種類／文のつなぎ方		3	
	1	Meeting New People	自分のことを話す・相手のことをたずねる	現在形	あいづち	2
5	2	Last Weekend	休日にしたことを説明する	過去形	主観と客観の区別	2
6	3	Weekend Plans	自分の予定を話す・相手の予定をたずねる	未来の表現	疑問詞を使ってたずねる	2
7	4	A Short Trip	したことがあること・ないことについて話す	現在完了形	会話のきっかけをつくる	2
	スピーチをしてみよう!					1
9	5	School Rules	してもよいこと・してはいけないことを伝える	助動詞①	謝罪の表現	2
	6	Are You All Right?	ある出来事について推測する	助動詞②	具合や調子をたずねる	3
10	7	Things Japanese	さまざまなものを紹介する	受動態	聞き返す	2
	8	Talking about Dreams	これからしたいことについて話す	不定詞①	励ます	2
11	9	To Keep Fit	足りない情報を補う・説明を付け加える	不定詞②	理由をたずねる	2
	10	Our Future Devices	あるもの・人によって可能になることについて話す	不定詞③	未知のものについてたずねる	3
12	11	Talking about Likes and Dislikes	するのが好きなこと・きらいなことについて話す	動名詞	依頼やお願いを受け入れる	2
	パラグラフを書いてみよう!					2
1	12	Reporting Something Unusual	変わった生き物などについて説明する	分詞①	感情を表す表現	2
	13	Being in Trouble	トラブルの相談をする	分詞②	同情・共感の表現	3
2	14	Great Achievements	有名人や、彼らの功績について説明する	関係代名詞	同意や確認を求める	2
	15	What's SDGs?	場所や時についての説明を追加する	関係副詞	感嘆の表現	3
3	16	Climate Change	程度などを比べて説明する	比較①	There is/are ....の表現	2
	17	Food Waste	データを比較しながら身近な社会問題について話す	比較②	提案する	2
プレゼンテーションをしてみよう!					3	
3	18	Water Problem	違う人の立場に立って話す	仮定法	願望の表現	3
					計 50	

「高等学校 論理・表現Ⅱ」(英Ⅱ 715) 年間授業計画

科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	2
使用教科書	(論Ⅱ 715) Harmony English Logic and Expression II (いづな書店)				
副教材など	同教科書準拠ワークブック				

月	課	レッスontitle・話題	言語材料	言語のはたらき	配当時間	
4		Introduction 「論理的に考える」ためのウォーミングアップ	出来事を伝える／説明する／話の流れを読み取る／理由を述べる／具体例を示す／分析する		1	
	1	During Spring Vacation	最近の出来事について説明する	動詞の時制	Narrative (1)	3
5	2	My Favorite Star	有名人の経歴について説明する	完了形	Description (1)	3
6	3	My Career Path	できること・すべきことについて話す	助動詞	Example (1)	3
7	4	Talking about Japanese Culture	日本の文化・ものについて話す	受動態	Description (2)	3
	スピーチをしてみよう!					1
9	5	Disaster Prevention	防災について考える	不定詞 (1)	Process	3
	6	Town Planning	都市構造について議論する	不定詞 (2)	Reason	3
10	7	Foods and People	食について考える	動名詞	Cause and Effect	3
	8	ICT and Universal Design	ICT とバリアフリー社会について考える	分詞	Example (2)	3
ディスカッションをしてみよう!					1	
11	9	Toward World Peace	世界平和に貢献した人々について知る	関係代名詞	Narrative (2)	3
	10	Volunteering Abroad	世界の国々について知る	関係副詞	Problem Solving	3
12	11	Health and Lifespan	健康と生活について知る	比較	Comparison	3
	12	If the World Were ...	さまざまな立場に立って考える	仮定法	Viewpoint	3
ミニディベートをしてみよう!					1	
1	13	Culture and Perception	文化と認知の関係について知る	否定・疑問	Emphasis	3
	14	World Report	ニュースなどの内容を伝える	話法	Reporting and Analysis	3
2	15	Be Yourself	自分らしい生き方について考える	特殊構文	Suggestion	3
	パラグラフを書いてみよう!					1
					計 50	

「高等学校 論理・表現Ⅱ」(英Ⅱ 715) シラバスおよび評価基準

「高等学校 論理・表現Ⅱ」(論Ⅱ 715) CAN-DO リスト

科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	2
使用教科書	(論Ⅱ 715) Harmony English Logic and Expression II (いづな書店)				
副教材など	同教科書準拠ワークブック				
学習の到達目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。				

科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	2
使用教科書	(論Ⅱ 715) Harmony English Logic and Expression II (いづな書店)				

■CEFR CAN-DO リストに基づく3種類の技能領域を下記のように記載する。

- ・Spoken Interaction … 話すこと(やりとり)
- ・Spoken Production … 話すこと(発表)
- ・Writing … 書くこと

■学習指導要領に基づく学習評価の3つの観点を下記のように記載する。

- ・知識・技能 … 【知】
- ・思考・判断・表現 … 【考】
- ・主体的に学習に取り組む態度 … 【態】

評価の観点		
① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

学期	月	レッスン名	評価のポイント	①	②	③	評価方法	考查
				☑	☑	☑		
1学期	4月	Lesson 1 During Spring Vacation	<b>【題材】</b> 最近の出来事 <b>【題材に関するタスク】</b> ・最近の出来事に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・最近の出来事に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・現在形、過去形、未来の表現について学んで理解する。 ・現在形、過去形、未来の表現を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・Narrativeの構造を理解し、展開する。 ・Narrativeの構造を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1学期 中間考査
	5月	Lesson 2 My Favorite Star	<b>【題材】</b> 人物紹介 <b>【題材に関するタスク】</b> ・有名人の経歴に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・有名人の経歴に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・現在完了形・過去完了形について学んで理解する。 ・現在完了形・過去完了形を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・Descriptionの構造を理解し、展開する。 ・Descriptionの構造を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
	6月	Lesson 3 My Career Path	<b>【題材】</b> 将来のキャリア <b>【題材に関するタスク】</b> ・将来のキャリアに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・将来のキャリアに関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・助動詞について学んで理解する。 ・助動詞を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・Exampleの構造を理解し、展開する。 ・Exampleの構造を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1学期 期末考査
	7月	Lesson 4 Talking about Japanese Culture	<b>【題材】</b> 日本の文化・もの <b>【題材に関するタスク】</b> ・日本の文化・ものに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・日本の文化・ものに関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 <b>【文法】</b> ・受動態について学んで理解する。 ・受動態を用いて文を作る。 <b>【言語の機能】</b> ・Descriptionの構造を理解し、展開する。 ・Descriptionの構造を用いて文を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		スピーチをしてみよう!	<b>【タスク】</b> ・描写・説明のパラグラフをベースにスピーチ原稿をつくるための基本的な構成方法や、スピーチをする際に求められる態度を理解する。 ・スピーチ例を声に出して読んだり、実際にスピーチしたりする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

LESSON 1 During Spring Vacation 最近の出来事について説明する

文法	現在形・過去形・未来の表現	論理構造	Narrative
	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
<input type="checkbox"/>	現在形・過去形・未来の表現を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 <input type="checkbox"/> Narrativeの構造を適切に用いて、会話を続けることができる。 ▶【考】 <input type="checkbox"/> 事柄や話題について、内容を整理し、適切な時制を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task <input type="checkbox"/> モデル会話の人物になりきって、最近の出来事を説明することができる。 ▶【態】 Start-Up <input type="checkbox"/> ペアになって自分が行ってみたい場所について説明したり、パートナーが行ってみたい場所を聞いて質問したり感想を伝えたりできる。 ▶【態】 Share	<input type="checkbox"/> 現在形・過去形・未来の表現を適切に用いて、最近の出来事について説明することができる。 ▶【知】 Task, Share <input type="checkbox"/> 適切な動詞の時制を用いて、最近行った場所やよく行く場所について書くことができる。 ▶【知】 Task <input type="checkbox"/> 示された人物の最近の行動を、適切な動詞の時制を用いて、正しく描写することができる。 ▶【知】 Task <input type="checkbox"/> 過去形を用いて、自分が最近行った場所について書くことができる。 ▶【知】 Write	<input type="checkbox"/> 現在形・過去形・未来の表現を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> 適切な動詞の時制を用いて、最近行った場所やよく行く場所について書くことができる。 ▶【知】 Task <input type="checkbox"/> 示された人物の最近の行動を、適切な動詞の時制を用いて、正しく描写することができる。 ▶【知】 Task <input type="checkbox"/> 過去形を用いて、自分が最近行った場所について書くことができる。 ▶【知】 Write

LESSON 2 My Favorite Star 有名人の経歴について説明する

文法	現在完了形・過去完了形	論理構造	Description
	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 現在完了形・過去完了形を適切に用いて、会話できる。 ▶【知】 <input type="checkbox"/> Descriptionの構造を適切に用いて、会話を続けることができる。 ▶【考】 <input type="checkbox"/> 事柄や話題について、内容を整理し、現在完了形・過去完了形などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 ▶【考】 Task	<input type="checkbox"/> 現在完了形・過去完了形を適切に用いて、有名人について説明することができる。 ▶【知】 Task, Share	<input type="checkbox"/> 現在完了形・過去完了形を用いて、正しく英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write <input type="checkbox"/> 現在完了形・過去完了形を用いて、偉大な人々の行動や業績を説明する英文を書くことができる。 ▶【知】 Task, Write

## 観点別評価表（個人）

各LESSONの評価対象となるStart-Up, Task, Share, Writeについて、1～3の評価を記入すると評価の平均と観点別評価が3段階で算出されます。

Start-Up, Task, Share, Writeの評価はすべて埋めず、空欄を残しても評価を算出することができます。

3段階の評価の基準（A, B, Cの基準となる数値）は自由に変更されます。

個人用の評価表は必要人数分シートをコピーしたり、プリントアウトしたりしてご使用ください。

観点	Start-Up 話す (Pp2D)	Task						Share 話す (Pp2D・発表)	Write 書く	評価 平均	観点別 評価
		A		B		C					
		話す (Pp2D)	書く	話す (Pp2D)	書く	話す (Pp2D)	書く				
		【クラス】 1									
LESSON 1	知識・技能	3	3		3	2	3	2	2.71	A	
	思考・判断・表現	3	2		3	2	3	3	2.71	A	
	主体的態度	2	2		2	3	2	3	2.38	B	
LESSON 2	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 3	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 4	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 5	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 6	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 7	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 8	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 9	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 10	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 11	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 12	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 13	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 14	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 15	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 16	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 17	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										
LESSON 18	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的態度										

### 評価規準

知識・技能	A	2.4	以上
思考・判断・表現	B	1.7	以上
主体的態度	C		

評価の基準は自由に決められます